

ふるさとづくり

なかのしま

Nakanoshima

第7号
2013.3.29



事業 その1

伝統行事体験事業 2 P

事業 その2

大口れんこん収穫体験ツアー 4 P

事業 その3

ようこそなかのしま!
イメージアッププロジェクト 5 P

事業 その4

映像で振り返る
～ふるさとなかのしま～発信事業 6 P



事業その1
伝統行事体験事業

6月2日(土)から4日(月)の3日間、刈谷田川堤防で、360年以上の歴史を持つ伝統の「見附今町・長岡中之島大風合戦」が繰り広げられました。

中之島地域ふるさと創生基金事業実行委員会では、大風合戦の醍醐味と迫力をゆつくりくつろぎながら体感してもらおうと、今年も刈谷田川堤防上に市民観覧席を設



市民観覧席は大勢の皆さんからご利用いただきました

置し、連日大勢の皆さんからご利用いただきました。

市民観覧席では、中之島地域の特産品をPRしようと、笹団子やれんこんサブレなどを販売しました。市民観覧席の利用者をはじめ、多くの来場者が立ち寄り、購入されていきました。

また、地域の伝統行事である大風合戦への参加などを通じてふ



地絡めに初挑戦の生徒たち。風糸を手に堤防を駆け巡りました

るさとを理解し愛する心を育むため、中之島中学校の生徒たちからいろいろな体験をしていただきました。

大風合戦最終日の4日(月)には、中之島中学校1年生が、地上であらかじめ風糸を絡めて引き合う「地絡め」に挑戦しました。

生徒たちは、合戦会場の両岸に分かれてスタンバイ。今年の地絡め体験は「男子チームVS女子チーム」で行われました。

風組の皆さんのアドバイスを受けながら、係員の合図とともに、生徒たちは風糸を手に堤防を全力疾走し、息を合わせて糸を引き、白熱した対決を繰り上げました。結果は女子チームが見事勝利しました。

大風合戦本番中に、大風合戦会場で貴重な地絡め体験を満喫した生徒たちからは、「地絡めは難しかった。」「貴重な体験が出来た。」



迫力満点の大風の応援パネル

今後も続けてほしい。」などの声がありました。

9月1日(土)に行われた運動会にも迫力満点の大凧が登場しました。

この大凧は、中之島中学校に配布した3枚の白凧に、生徒が考えた絵を、生徒自らが描いたもので、運動会での各チームの応援パネルとして活用しました。

さらに、10月30日(火)には、その大凧を利用して、総合学習の時間に3年生がグラウンドで大凧揚げ体験を行いました。

まずは凧の仕込み体験から。凧組の皆さんと一緒に糸付けなどに挑戦しました。

独特の糸の結び方に生徒たちは大苦戦。凧組の皆さんから「手とり足とり」サポートを受けながら、真剣な表情で糸付けをしていました。

大凧の準備が整い、いよいよ凧揚げのスタートです。凧組の皆さんから揚げ方の指導を受けた生徒たちは、凧系を持ち、「走れー！」

の声を合図にグラウンドを全力疾走しました。

最初はうまく揚げるのができませんでしたが、何度も繰り返すうちにどんどん上達し、大凧が天高く舞い揚がると、生徒たちは歓声を上げて喜んでいました。

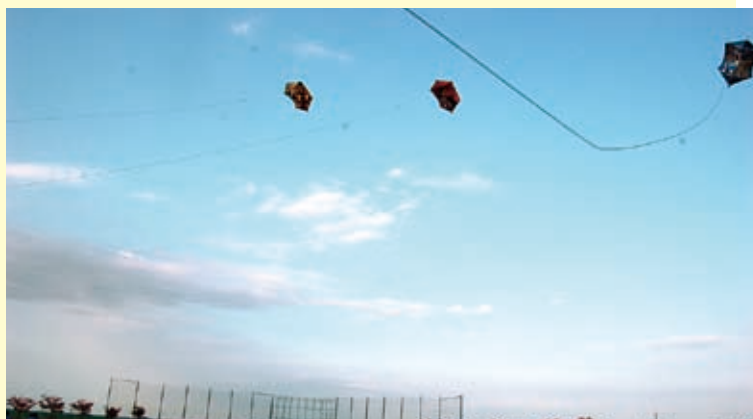
当日は、弥彦山がはつきり見

えるほどの秋晴れで、時折白鳥も飛来していました。

このような絶好のコンディションの中で行われた凧揚げ体験を、生徒たちは思う存分満喫していました。凧組の皆さんご協力ありがとうございました。



**生徒たちの手により
優雅に舞う大凧**



フィナーレには、3枚の大凧が一斉に舞い揚げられました！



独特の糸の結び方に生徒たちは大苦戦！

事業その2 大口れんこん収穫体験ツアー



9月29日(土)、中之島の特産品「大口れんこん」の魅力を肌で感じてもらい、そしてそれを広くPRするため「大口れんこん収穫体験ツアー」を開催し、県内外から20名の参加をいただきました。

まずは、大口れんこんの収穫体験からスタートです。「胴長」と「手袋」を身に着け、いざ、れんこん田へ。大人でも膝まで水がつかるほどの深さの中、足を取られそうになりながらも、一步一步進んで



いきましました。そして、生産組合の皆さんからサポートを受けながら、手探りでれんこんを探し当て、ゆっくり慎重に掘り出した

参加者の皆さんは、丸々と太った立派なれんこんを手にも満面の笑みで喜んでいました。

昼食では、キムチ和えや梅漬け、参加者の前で焼いていただいた、香ばしい醤油の香りとサクサクとした食感が最高の「焼きれんこん」などの大口れんこん料理をメインに、中之島産の小松菜やきのこを使った料理が、新米コシヒカリのおにぎりとともに振る舞われました。



秋風を感じながらの乗舟体験

れんこん田で「一働き」し、お腹を空かせた参加者の皆さんの箸はどんどん進みます。新鮮な地元食材を使った絶品料理の数々を思う存分堪能し

ました。

また、料理教室では、大口れんこんのいろい

ろなレシピや調理方法などが紹介され、参加者の皆さんは熱心に耳を傾けていました。

他にも、れんこん田での乗舟体験や、はさみを使って蓮の実を花の形に変身させる「蓮の実アート」、蓮の葉に飲み物を注ぎ、茎をストロー代わりにして飲む「象鼻杯^{ぞうびはい}」など、大口れんこんの魅力

を余すことなく存分に味わった参加者の皆さんからは、「大きいれんこんが採れてうれしかった。」「あらためて大口れんこんは甘くておいしいと感じた。」「れんこん料理がとてもおいしかった。」「他では体験できない貴重で思い出に残るものになった。」「生産組合の皆さんがやさしく、親切で良かった。」などの声を多く聞いた。



中之島産の食材を使った絶品料理の数々に舌鼓



はさみ片手に蓮の実アート体験。きれいな花の形になりました

いただきました。

今回の「大口れんこん収穫体験ツアー」には、前回に引き続き、アサヒビール(株)の皆さんが応援に駆けつけてくださいました。

ドリンク類のサービスや、オリジナルグッズなどが当たる「くじ引き」などで会場を盛り上げてくださり、また、アサヒビール(株)のホームページに「大口れんこん収穫体験ツアー」の様子を掲載していただきました。生産組合の皆さん、ご協力ありがとうございました。



茎をストロー代わりに象鼻杯体験

ようこそなかのしま！イメージアッププロジェクト

刈谷田川左岸の中之島大橋脇に、平成23年に整備された「'04中之島記念公園」。この公園の景観ドレアップを図り、おもてなしのメッセージを発信しながら、公園のPRにつなげようと、「ようこそなかのしま！イメージアッププロジェクト」と題し、公園法面への植栽や、木製プランターの設置などに取り組みました。

この取り組みは、公園を維持管理されている「中之島ラブフォー隊」の皆さんが中心となり、地域



ずらりと並んだプランター。色とりどりのピオラがとてもきれいです

のご協力をいただきながら実施しました。

9月下旬から公園法面の除草などの養生を行い、10月の植栽会に向けての準備がスタート。そして、10月20日（土）、さわやかな秋晴の下、シバザクラ植栽会と木製プランター植栽会が行われました。

シバザクラ植栽会には、約70名の参加をいただき、白色と桃色のシバザクラ3、400株を公園法面に植えました。

雑草が生えないように防草シートで覆われた法面。参加された皆さんは、足元に注意しながらシバザクラを一株一株丁寧に植えていました。

また、このシバザクラは、花が咲いたとき「'04なかのしま」の花文字ができるように植えられました。

シバザクラ植栽会の後に行われ



プランターにピオラの花苗を植えるオーナーの皆さん

た木製プランター植栽会には、プランターオーナーになっていた18組の企業・団体の皆さんから参加いただきました。

公園に設置された40基の木製プランター。18組のプランターオーナーの皆さんは、手作りのメッセージプレートを取り付け、ピオラの花苗を愛情込めて植えました。

5月にはシバザクラが咲き、

「'04なかのしま」の花文字が訪れる方々をお迎えし、また、木製プランターには、オーナーの皆さんが夏の開花に向けてヒマワリの種を植えてくれます。

'04中之島記念公園は、刈谷田川の改修により、人々の生活があった場所に整備された公園です。この公園をあらたな憩いの場として、多くの方々からご利用いただきたいという思いを込めて、中



プランターには手作りのメッセージプレートも付けられました

之島ラブフォー隊の皆さんをはじめ、地域の皆さんが一生懸命育て、管理しています。

今回の「ようこそなかのしま！イメージアッププロジェクト」で、公園は地域の皆さんの力で、より魅力アップしました。植栽会に参加された皆さんからは、「大切に花を育てて、皆さんが楽しく過ごせる公園になってほしい。」「きれいに花が咲くように育てたい。」などの声をいただきました。



3,400株のシバザクラが、地域の皆さんの手で丁寧に植えられました

事業その4
映像で振り返るふるさとなかのしま発信事業

ふるさと中之島が歩んできた歴史や、中之島の名所などを知ってもらおうと、平成8年に中之島町の町制施行10周年を記念して作成した「中之島紹介ビデオ」と、平成13年に中之島町立町（村）100周年を記念して作成したビデオ「時空を超えて中之島100年のあゆみ」を編集、加工して、約20分のDVDを作成しました。

このDVDには、明治、大正時代の中之島の様子や、大竹邸記念館の紹介などが収められています。

DVDは「貸出し」を予定しています。詳しくは、下記事務局までお問い合わせください。



大正期の大風合戦



刈谷田川大堰（過水吐煉瓦閘門）の竣工式（明治41年）



昭和47年1月に村指定文化財に登録された大竹邸記念館